



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

第124号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進 7月発行

2012年

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3400円

日曜版1ヶ月 800円

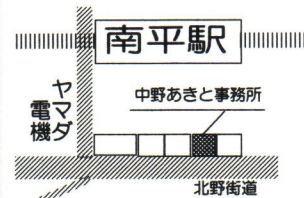
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



平山6丁目の違法生コン工場 住民のみなさんのたたかい実る

6月末で操業停止



7月2日操業停止が
確認された生コン工場

平山6丁目で22年間にわたり違法操業を続けてきた生コン工場が、6月末日で止まりました。週明けの7月2日早朝、20人をこえる住民が見守るなか、日野市職員4名が工場内に立ち入り、停止されていることを確認しました。この2年あまりにわたる住民の皆さんの日野市や市議会への働きかけ、粘り強い取り組みが、実質的に違法操業を放置してきた日野市の態度を改めさせ、違法操業の停止を実現させました。

違法操業の始まりは、平成2年にさかのぼります。この地域は、昭和48年に第一種住居専用地域に指定され、すでに生コンプラントの建設はできない地域になっていました。だからでしようか事業者は、建築確認申請という法的手続きを一切行わず生コンプラントを建設、操業を開始したのです（建築基準法6条及び48条違反）。

その時点で違法性は明らかでした。しかし、違法建築物の取り締まり権限をもつ特定行政庁（当時は東京都、平成8年からは日野市）は、適切な対応を行ってきませんでした。違法操業を放置してきました。なぜ、長期にわたる違法操業が続けられてきたのか。どうして周辺住民は、操業に伴う騒音、振動、粉じん等の被害に苦しめられなければならないのか。その根本には違法建築物を取り締まる強力な権限と責任を持つ特定行政庁の不作为とも言えるべき責任の放棄がありました。四半世紀にも及び理不尽な被害を受けてきた住民の方々の苦悩、憤りは私たちの想像をこえるものです。それだけに「ひよつとしたらまた」という不安が残ることも当然です。改めて日野市には、住民の不安が本当に解消され、平穏を取り戻せたと実感できるまで、しっかりと対応を求めて行きたいと思っています。



同時に、行政だけではなく、市議会の役割、存在意義も問われてきた問題だと思っています。私自身もそのことを自覚して今後の活動に力を尽くしていきたいと思っています。

中野あきと

夏の風物詩

「駒形の渡し」を復活して

今年度（2012年度）から南平5丁目と向かいの「市民プール」を結ぶ浅川の「駒形の渡し」が廃止になりました。好評だった「駒形の渡し」の廃止に、「何で？」と、疑問の声とともに「夏の風物詩・『駒形の渡し』」の復活の要望がたくさん寄せられています。

特に南平からは対岸に行くのには遠回りをして、上流の一番橋か下流の高幡橋を渡らなくてはなりません。子供たちの「安全」のためにも、また夏の風情を楽しむためにも早急に復活してほしいものです。

短信

毎週金曜日の夕刻から夜にかけて、原発再稼働に抗議する人波が首相官邸を包む。3月29日、300人で始まった

この行動は、大飯原発再稼働以降巨大津波のような規模で、6月22日には4万5千人、29日には未曾有の20万人。雨を衝いて7月6日も15万人が官邸周辺を埋めた▼団体による組織動員ではない。ツイッターなどを介し呼びかけ合った「原発やめろ」「再稼働反対」の思いが生んだ巨大な人のうねり。主催は首都圏原発連合の有志。誰でも参加できる非暴力の行動である▼つないだ手をいっばいに広げ銀座通りを埋めたフラッシュモブから半世紀。あの60年安保の再来をいう人もいる。20万人に広がった6月29日。官邸前の車線が一つずつ解放され、ついに6車線全部が人で埋まった▼団旗が林立したのは半世紀前。今は手づくりのプラカードや横断幕が、湧き起るコールと共に流れ漂う。人呼んで「あーさい革命」。小さな花が集まり群れ咲く様子を言う人や、次第に色濃く変化する様子を説く人もいる。ペピーカーを押す子育てママが目立つこの行動。「元氣な女性」という花言葉が相応しい。(K)

たかはた保育園の存続問題

市長「指摘について努力したい」

昨年12月市議会で突然閉鎖が持ち出された、たかはた保育園の存続問題。市は、平成21年に交わした土地所有者との協定によって「26年3月までに借地返還をしなければならぬ」と説明しました。しかし、協定を交わした10カ月後に市は「土地所有者と交渉を行い公立保育園として存続できるように努力する」と市民に説明をしてきました。

私は、6月の市議会で「借地返還と廃止・民営化問題を知らずに入園してきた子どもと保護者のことを考えるならば、

一方的な対応は許されるものではない」「最高裁判決でも示されているように、卒園までの保育を入所した保育園で行うことは行政の最低限の責任である」と市の姿勢を質しました。

最後に答弁に立った市長は「議員は、ゼロ歳児が卒園する6年間はずっとやりやるのが最低限のことだといいました。これについては一生懸命努力をしていきたいというふうに私は思っております」と答弁しました。たかはた保育園の存続を求めて引き続き取り組んでいきたいと思います。

中野あきと

日本共産党市議団が意見書を提出 北野街道・川崎街道の整備を

日本共産党市議団は6月市議会では、混雑緩和、歩行者の安全、災害時の道路確保の上でも切実な課題であるとし、早期に事業の完成を求めたものです。

川崎・北野街道の整備は、多摩市との境界、一ノ宮交差点から百草園駅付近、高幡交差点から高幡橋まで進められつつあります。北野街道でも「すいすいプラン」事業で、交差点の整備が進められてきました。しかし、事業は、当初計画から大幅に

遅れ、一部区間の事業化に向けた住民説明会まで開かれながら休止状態となっています。

意見書は、川崎・北野街道の整備は、混雑緩和、歩行者の安全、災害時の道路確保の上でも切実な課題であるとし、早期に事業の完成を求めたものです。

この問題については、日本共産党市議団が行ったアンケートにも「歩道が狭くて危険」「車イスで通ると車の風圧を感じる」「など」など拡幅・改修を求める要望が多数寄せられています。



救急車の配備が実現

日野消防署
豊田出張所

今年度、日野消防署豊田出張所に救急車が配備されることになりました。東京都の新年度予算に、人件費を含む救急車配備のための予算が盛り込まれたもので、来年1月下旬ごろ配備、運用が始まる予定です。

豊田出張所への救急車の配備については、これまで平山住宅自治会から日野市議会及び都議会へ繰り返し請願が寄せられ採択を重ねてきました。また、日野市に対しては、川北8自治会からも要望書が上げられていました。そういう中で市も、市議会での私の質問に対し「豊田出張所に当然配備が必要と強く認識しているところ。(都に対し)早急な配備を要望していきたい」とし、東京都への要望を行ってきました。

多くの自治会、住民の切実な声が粘り強く上げられる中で、市も積極的に動き、東京都の今年度予算に盛りこまれることになったものです。

中野あきと

《2012年8月の無料法律相談》

市役所6階 共産党控室 午後1時～3時

8月 9日(木)

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。

消費税の増税と社会保障・財政危機について 日本共産党はこう考えます

【その4】内需主導で経済を健全な成長軌道にのせる。

世界中で不況・経済危機が広がっていますが、日本ではこの10年来、働く人の収入が年々減るという、ほかの主要国には見られない異常現象が続いています。したがって、歳出と歳入の改革を行っても問題を解決することはできません。日本共産党の「提言」では「国民の購買力を増やし内需の力で経済を安定・成長の軌道にのせる」というもう一つの「改革」の柱をかかげました。

賃金を下げたり、非正規雇用を増やしたり、下請け単価を叩くことなどが横行していますが、これにより国民の所得は減り、経済の6割をしめる家計消費を冷え込

せ購買力の低下による不況の悪循環となり、結局、大企業の経営も圧迫することにもなります。国民のくらしと権利を守るルールをつくり、是正する必要があります。

◆非正規をなくし正社員が当たり前の社会にする。◆もっと最低賃金を引き上げ「働く貧困層」をなくす。◆長時間・過密労働を規制し雇用を増やす。◆公正な取引ルールをつくり下請けいじめを止めさせる。◆農林水産業再生の抜本的方策をとるなどです(このルールを中小企業も守れるように手立てをとることは当然です)。

この「改革」によって、大企業がため込んでいる巨額な内部留保が経済に還流し、国民の購買力が回復することによって日本経済を内需主導の健全な発展軌道にのせることができます。消費税増税により不況に拍車をかけ税収が減ってしまうのとは違い、景気が回復することによって税収を増やすことができます。